

会 議 録

会議の名称		第68回小金井市公立保育園運営協議会次第
事務局		子ども家庭部保育課
開催日時		令和5年3月18日(土) 午後3時30分～5時24分
開催場所		Web会議
出席者	五園連	葛窪 千晴 委員(くりのみ保育園) 泉川 紗都 委員(くりのみ保育園) 大島 康宏 委員(わかたけ保育園) 小林 那奈好 委員(わかたけ保育園) 河原 莉菜 委員(小金井保育園) 田邊 明日香 委員(小金井保育園) 保々 博美 委員(さくら保育園) 岩間 みどり 委員(けやき保育園) 中澤 超 委員(けやき保育園)
	市	大澤 秀典 委員(子ども家庭部長) 三浦 真 委員(子ども家庭部保育課長) 堤 直規 委員(子ども家庭部保育政策担当課長) 前島 美和 委員(くりのみ保育園園長) 杉山 久子 委員(わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員(小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員(さくら保育園園長) 池田 由美子 委員(けやき保育園園長)
欠席者	五園連	佐藤 瑳夕里 委員(さくら保育園)
傍聴の可否		○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数		3人
会議次第		1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) アンケートについて ① 市立保育園の老朽化・安全性について ② 市立保育園における保育士の配置状況について (3) その他 ① 前回以降の状況(議案「小金井市立保育園お在り方検討委員会設置条例」)

	② その他
発言内容・ 発言者名（主な 発言要旨）	別紙のとおり
会議結果	1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) アンケートについて ① 市立保育園の老朽化・安全性について ② 市立保育園における保育士の配置状況について (3) その他 ① 前回以降の状況（議案「小金井市立保育園の在り方 検討委員会設置条例」） ② その他
提出資料	(1) 資料280 公立保育園の維持管理について (2) 資料281 市立保育園における保育士の設置状況に ついて (3) 資料282 議案第19号「小金井市立保育園の在り 方検討委員会設置条例」
その他	なし

開 会

○大澤委員長　それでは、ただいまから第68回小金井市公立保育園運営協議会の会議を開会したいと思います。

本日も、対面とリモート併用での会議となります。リモート参加の方につきましては、音声のみでの参加となりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、大島委員長の方からも、ご挨拶、一言よろしくお願いいたします。

○大島委員長　本日は市長に来ていただきまして、まず調整いただきましてありがとうございます。また、来ていただいてありがとうございます。

というところで、可能であれば最後まで見ていただきたいのもありましたが、時間の許す限りお願いいたします。

あと、本日が最後の参加となる保護者委員もいますので、最後、時間が許せば一言ずつコメントいただきたいなと思っております。本日もよろしくお願いいたします。

○大澤委員長　それで本日到りましては、さくら保育園の佐藤委員よりご欠席のご連絡をいただいておりますので、冒頭その旨、ご報告をさせていただきたいと思います。

それでは、議題に入る前に、本日、市長がお見えになっておりますので、少しお時間をいただき市長のほうからご挨拶をさせていただきたいと思います。市長よろしくお願いいたします。

○白井市長　改めまして、皆さんこんにちは。着座にて失礼させていただきます。

改めまして、今日は公立保育園運営協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

冒頭、私のほうからまずご挨拶をさせていただきたいということで、若干ですがお時間を取らせていただきました。

今日は、気温も低くて足下も悪い中ご出席いただき、またリモートの方々もそうですけれども、皆様、基本的に保育園に入られてるということはお子さんもいらっしゃって、平日は基本的にお仕事をされている。そんな中、貴重な土曜日にお時間をいただいて、この運営協議会、ずっと継続して開催しておりますが、ご理解、ご協力いただいております。

ますことを改めて感謝を申し上げます。中には理解してないよという部分もあるかもしれませんが、そこはそこで、すみませんが、よろしく願いいたします。

これまで私自身、議員として、今日、傍聴の方もたくさんいらっしゃっておりますが、あちらで5年間ほどですかね、ほぼ毎回、この会議を傍聴させていただいてまいりました。先ほども申しましたように、皆さんの貴重なお時間をいただいて公立保育園の運営に関して協議をする場として設けておりますので、できるだけこの場が貴重な場になるというか、保育園の運営について子どもたちのためにいい運営ができる、そういった協議の場にできればということだと思っております。改めてよろしく願いいたします。

冒頭の挨拶ということなのですが、市長になって、この運営協議会に私自身が出席するのが初めてでございますので、この間の経過を皆さんもご存じのところもほとんどだと思いますが、私のほうからも説明をさせていただきます。

11月27日の市長選に向け、公立保育園の2園の廃園というものが前市長の下で専決処分をされ、前市長が、専決処分が不承認になったことで辞任をされ、それで市長選挙が行われたわけです。

幾つか掲げた私の政策の中で、廃園の撤回と、あわせて、市全体の保育の質の維持向上の仕組みをつくるんだということを公約の一つとして掲げさせていただいて、選んでいただいたという経過がございます。

11月28日から市長としては公務が、もう翌日から始まったわけなんですけども、12月16日から定例会というものを控えておまして、即座に私としては、公立保育園の2園を廃園にした条例を廃止する条例というのを議会に提案させていただいたところなんです。

何でそんなに急ぐのという声も実はありました。ただ、これについては皆さんご存じのとおり、なぜそこで提案して議決を求めたかと言いますと、既に第一次募集、今年になります。今年4月1日の保育園の入所の募集がもう始まって、第一次がもう締め切られた状況で、その段階では、その条例のとおり、2園廃園に向けて0歳児の募集停止ということが行われておりました。

この12月の定例会で、議会で廃止の条例を議決することによって0歳児の募集を復活させるということ考えた上で、12月の定例会での議決を求めたわけでございます。これは私自身が公約に基づいて、それに沿った形でご提案させていただいた次第です。結果については、大変申し訳なかったんですが、議会のほうで否決という判断をされて

しまいました。

私としては、専決処分が不承認になったものですから、不承認になったんだから元に戻すのが当たり前でしょということでご提案させていただいたところだったんですが、私の考え、思いとは別の考えを持っておられた方が多数だったということで、残念ながら否決というふうになってしまったところでございます。

これにつきましては、私自身そうするべきと思ってやったところではございますが、そういう結果になってしまったことについては、お詫びを申し上げたいと思います。

あわせて、市全体の保育の質の維持向上ということを考えておりました。その12月の条例が可決、否決関係なく、私としては当然やるべきと、この間、議員のときからもずっと主張しておりましたのが、公立保育園の役割、在り方の検討でございます。市議会議員のときにずっといろいろ調査をしておったところ、近隣市でいうと、全てではないんですけども、西東京、府中、武蔵野、小平、あとちょっと離れていますが、東村山と、こういうところの、いろんな保育園の役割、在り方に関する有識者などを交えた議論の経過、その調査結果報告、その計画というか方針みたいなものを私のほうでもいろいろ見ておまして、市としてもそれをやらないといけないと。それは、長期にわたって市全体の保育の質の維持向上に向けて、公立保育園が果たすべき役割ということをしっかり定義すべきだということを考え、先ほども資料の説明でもございましたが、今、開催されております市議会の定例会の中で市立保育園の役割、在り方検討委員会の設置条例というのをご提案させていただき、一応、厚生文教委員会というところでの審査が終わり、その議決がどうなるかというところの結果を待つという状況にはなっておりません。

これは、すこやか保育ビジョンというものを2年前につくったんですけども、市が果たすべき役割ということを書いておりますが、それを具体的にどうやっていく、そもそも公立保育園が何やるんだっけということについては、市としては明確に役割、在り方、そして何を今後していくということについてはしっかり明記されておりませんので、それを、すこやか保育ビジョンに掲げられたことをしっかり果たすためにも、公立保育園の役割、在り方を有識者を交えて定義することが必要だということでご提案をさせていただきますので、その結果が出ることを信じております。

その検討委員会設置の際には、その条例の中にも書いておるんですが、市立保育園を利用する児童の保護者2名の委員というのも設定しておりますので、その際はご推薦の

ほど、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

廃園に関することではあるんですが、説明会をやらないといけないというふうには考へております。これは、前市長が例の廃園方針の説明会の中でも、たしか説明をしていたと思うんですけども、議会でも述べられてましたかね。廃園が決まった際には保護者の皆さんに会って説明をするということを前市長はおっしゃってました。今、専決処分がされて廃園条例の撤回・廃止条例が否決された状況でございますので、今、廃園が進んでおります。このご説明というのをしっかりやらないといけないと私も思っておりますので、ちょっと今、定例会中でございまして大変申し訳ございませんが、年度明けて、できるだけ速やかにその場を設定させていただきたいと考へておりますので、ちょっとまだ日程等は詰め切れておりませんが、またお知らせをして皆さんにもご参加いただきたいというふうには考へています。

この間、五園連の皆様とは一度、対市懇談会という形でお話をさせていただきましたが、正直申し上げて、やっぱり市長となるとなかなか、本当はいろんな方々と、お一人お一人ゆっくり時間を取ってお話をしたいところなんですけど、そもそもそういう時間がなかなか取れないという事情もございまして大変恐縮ではございます。

今日はこういった形で挨拶をさせていただくということだけにとどまっておりますが、今後とも運協の皆さん、五園連の皆さんともしっかりと話し、協議の場、私のほうでもできるだけ時間調整して参加できるところは参加していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げて、私からの挨拶は以上とさせていただきます。

○大澤委員長　1月のときは対市懇をさせていただいて、運営協議会を開催させていただき、対市懇のほうには市長のほうにも参加はさせていただいたと。通常、いつもですと2時間ぐらいのところを1時間というところの中で終わったというところがあります。

今日はこちらのほうにおいでいただいてご挨拶というところで、市長のほうも引き続きまた参加をしたいという、話しをしたいというふうなお話もいただいております。その辺につきましては、大島委員長と調整をして五園連の対市懇という形になるのか、運協の場でいいのかというのは調整をさせていただく場を設けたいというふうに思っております。

本日につきましてはこの後、すみません、公務等でございますので、市長のほうにおかれましては退席をさせていただきますので、その旨ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

ということで、市長ありがとうございました。

○大島委員長　せっかく来ていただいて何も言わずに帰っていくのも何か。私から一言だけいいですか。

○大澤委員長　どうぞ。

○大島委員長　本日、本当にありがとうございます。また来ていただけるということではありますけど、せっかく来ていただいたということですのでお話させてください。

今日わかたけ保育園では役員会がありまして、今年度最後の役員会がありました。その中で役員も今度で終わるのかと思いますけど、いろんな話の中で廃園の話も今日は、実はしてありました。

そこで、各役員の方に廃園についてどう思うかという率直な意見を今日伺って、様々な皆さんの考えが出てきました。基本的には賛成してる人はいなかったんですけど、その中で特徴的な意見を一つだけお伝えします。今せっかく来ていただいているので。

ちょっとこれは白井市長には耳の痛い話にはなってしまうんですけど、これは複数名の方からいただいたんですが、市長が代わって期待していたんですが変わらないというところで、すごい残念に思ってますという意見が実は複数ありました。

変わらないというのは、私たち運営協議会を見ればそんなことはないということはもちろん分かってまして、白井市長がやっていることも分かってますし、ただ、これはやっぱり、そうじゃない一般の、一般のという言い方あれですけど、運協委員じゃなく五園連以外の方の意見ですと、やっぱりそう写るんだなということを私も聞いていてはっと思いました。ですので、今日の話ですと、やっぱり期待してたと。何でこうなんだろうということを書いていましたので、そこについてこういう意見がありましたよということ、ここでぜひ伝えておきたかったなというところでもあります。

今日のお話の中で、一番聞きたかった廃園の撤回はしましたという話ですけど、今後について、じゃあまだこれって終わってないですよねというところは、一言いただきたかったなというところですので、終わりじゃないですよねってところは一言いただきたいと思うというところと、あと、これは前任の市長の話になってしまいますけれど、廃園の進め方につきまして、やっぱり委員会の中での覚書という形で運営協議会の中で事前にいろいろ示してく中で、そういう話を一緒に進めていきたいと思いますという話をして、覚書という形で前の市長、前の代々の運協で決議を得ていきましたけど、そういう点が若干、今回の廃園の進め方については、ないがしろにされてしまったのかなということ

運協としては思っております。

その点につきましても、前に質問書を投げたときは、きちっと覚書は遵守しますという回答いただきましたが、改めてその辺のことを一言いただきたいなというところで、その2点はちょっと持って帰りたいなと思っております。

○白井市長 まず一つ目の廃園の件なんですけども、先ほども申しましたが条例が否決されてしまっていて、これを議会意思ではありますけど、私自身がお約束したことに対してそうならなかったという、まずその点について、改めておわびを申し上げたいと思います。

まだ終わってないよねということなんですけど、わかたけをどうするかということも、例えば廃園方針の中で時期が明言されてなくて、それをどうするかという話もあり、今その廃園ということで2園となっておりますが、ずっと説明会でも指摘されてきたことに対する取組についても、まだ我々としては十分検討ができてなかったりという部分もあったりする中でございます。

そういったいろんな意味も含めまして、当然終わった話ではなくて、今回の在り方の検討もそうなんですけど、それとイコールではないんですけど、やっぱりこうやって保育園の役割ということについてしっかりと我々としても検討して、やはり一番大事なのが市全体の保育の質の維持向上ということだと私は思っておりますので、そういうふうを受け取っていただければと思います。

あと、覚書については、回答させていただいたとおり、これまでの経過の部分で私自身がタッチできてないところもございましたのでそこは何とも言えませんが、遵守をするというこれまでの回答どおりでございますので、それなりに受け取っていただければと。

すみません。ちょっとこの後もありますので、これで失礼いたします。ありがとうございました。

○大澤委員長 それでは、議事の進行のほうに移らせていただきたいと思います。

まずはじめに（1）前回の会議録の確認を議題といたします。

前回の会議録につきまして、委員の皆様には校正をお願いしておりましたが、修正の申出はございませんでしたので、校正依頼した内容を持ちまして確定とさせていただきますと存じますけども、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○大澤委員長 ご異議がございませんので、校正依頼いたしました内容で確定とさせていただきます

と思います。会議録につきましては、速やかにホームページにて公開させていただきたいと存じます。

次に（２）アンケートについてを議題といたします。

前回、保護者委員からご質問をいただきました市立保育園の老朽化・安全性の問題、それと市立保育園における保育士の配置状況の問題につきまして、本日、資料のほうをお配りしております。こちらのほうの資料、リモートの参加の方、無事に届いておりますでしょうか。葛窪さんとか泉川さん、大丈夫ですか。

○葛窪委員 大丈夫です。

○大澤委員長 ありがとうございます。

それでは、本日、二つ資料を用意しておりますが、一つずつご説明をさせていただいて、ご質問等を承っていきたいと思っております。

まず資料２８０ 公立保育園の維持管理について、三浦委員のほうからご説明よろしくをお願いします。

○三浦委員 保育課長でございます。

資料２８０についてご説明をいたします。こちらの資料につきましては、前回、委員会の中で市立保育園の園舎の状況等について資料をいただきたいとのご発言があり、その後、一定の調整を行わせていただきまして、できるだけ分かりやすい内容となるように資料を整理したものでございます。お手元の資料２８０をご覧ください。

１の耐震の欄につきましては、旧耐震基準で建設されてございます、くりのみ保育園、わかたけ保育園、さくら保育園の耐震補強工事の実施年度をお示ししてございます。

２の特定建築物定期調査につきましては、建築基準法に基づきまして、３年に１度、及び１年に１度、調査を行ってございます。市の建築営繕課が不具合箇所等の検査を実施いたしまして、その後の対応について記載をしてございます。詳細は裏面に記載のとおりでございますが、財政部門との協議によりまして、限られた予算の中で優先度をしんしゃくしながら修繕等を実施している状況でございます。

３の設備保守点検につきましては、個別の法令に定められた点検のほか、日常の使用の中で異常があれば都度点検を行い、必要に応じて補修や修理、解体等を行っているものでございます。

これらをもちまして、現在、園舎の建物の安全性につきましては一定の水準にあり、直ちに危険な状態ではございません。

ただし小金井、けやき保育園以外の3園につきましては、昭和43年から48年に建築されてございまして、築後50年以上が経過する中、設備等の老朽化が進行している部分は否めないものと考えているところでございます。詳細は資料のほうをご覧ください。

私からは以上です。

○大澤委員長 今、三浦委員のほうから資料280といたしまして、公立保育園の維持管理についてというところで耐震の関係、それと特定建築物等の定期調査、これは3年に1度というところになると思います。それと設備保守点検というところで毎年1年に1回というところだと思いますが、その指摘事項等も踏まえて裏面のほうに本日資料という形で出させていただきました。

まずこちらのほうの資料につきましてご質問等ございましたら、リモートの方も含めてご質問とかございましたらよろしくお願いたします。

○大島委員長 皆さん初見ですので、ここがちょっとどういう意味ですかとか、そういうことがまずいいのかなど。

○大澤委員長 リモートの方、挙手ボタンでもお願いたします。

はい、大島委員長。

○大島委員長 理解も含めて質問というところでいきたいと思いますが、保護者側としてもともと要求していたものは、安全なのかというところ。あと点検をどういう形でしてるかというところでそれを示していただいたと思っております。

何をもちって安全か、大丈夫かというのは、確かに私たちも分からない中で示していただいたというところになってしまうんですけど、ここで書かれているものに関しましては国の基準に従ってきちんとやっていますか、やっていますというところを示しているのか、または、市で独自につくられた基準を基にそれをやっておりますという説明なのか、どういうものか教えてください。

○大澤委員長 今、大島委員長のほうからそういう質問がございました。法的な検査なのか、また市に独自性があるのかという趣旨かと思えますけれども、いかがですか。

三浦委員お願いたします。

○三浦委員 まず1番の耐震補強工事のところでございますけれども、こちらについては実施済みというのはよく皆さんご存じかと思うんですが、いつやったのかというご質問がありましたので時期を載せてございます。

それから2番と3番、法定点検につきましては、国の法律に基づいて点検をしているというところがございますので、市独自というよりも法の規定に基づいて実施しているものということになります。

裏面のほうにお進みいただいて、ちょっと専門的な言葉が出てくるんですけども、例えばくりのみ保育園さん、「シート防水の浮き・破損」というのが上から二つ目にあるんですが、ここについては実施時期等々も含めて対応をどうするかというような形で、今建築営繕課のほうでも確認、検討しているという状況。

それからその上、「外壁のモルタルの浮き」につきましましては、建築営繕課さんのほうで基本的には修繕対応したというようなものでございます。

○大澤委員長　いかがですか、大島委員長。

○大島委員長　ちょっと待ってください。検査は国の基準に従ってしていますし、市が独自に定めたものではないですというところでもまず回答をいただいたと思っていまして、それに加えてこの見方として、裏側の、対応すると書いてるところは既に終わってると。検討中は、今まさに実施時期を調整しているところだと思うんですけど、一覧で出てくるのってこのぐらいなんですねという、本当の感想なんですけど、これ以外には3年に1回建築を検査していく中で、何もなかったときは何もなかったというのが、この令和元年度、2000年ですかね、それともここは、令和元年度以前を載せていないだけなんですか。

○大澤委員長　三浦委員お願いします。

○三浦委員　直近のものということで、令和元年度以降を書いています。

あとすみません、補足させていただいて。例えば夏場ですけども、最近、夏は暑いのでよくエアコンが急に止まってしまったりとかそんなことがあって、緊急修繕ということをよくやります。それもこの表の中には入ってないです。建屋の安全性というところに着眼していたので。

○大澤委員長　大島委員長。

○大島委員長　見方は分かりました。ありがとうございます。

○大澤委員長　ほかの皆さんいかがでしょうか。

多分初めて見られた資料というところと、今日、ご配布をさせていただいた状況かなと思ってます。また、それぞれこういう分野に詳しい方のご意見とか、各それぞれいらっしやる部分もあるかと思いますので、今日の時点では取りあえず、すみません、現状というところで資料を出させていただきましたので、またこの件につきましてご質問と

かございましたら、改めてまたご発言をしていただくという形によろしいですか。

○大島委員長　　そうしましたら、もう一つだけ私から。

○大澤委員長　　はい、大島委員長。

○大島委員長　　もともとの質問がやっぱり安全性で、安全性というのは多分いろんな意味で捉えられますけど、建物が本当の意味で地震が起きて壊れてしまうとか、そういうことに対してどうなってるのかということを示す資料としては一番の耐震補強のところがここですよという、これ以外については、補修とかですかね、設備の補修についての点検があって、それに対して補修してるということこの理解でいいんですかということ、耐震という意味では1番だけですよということによいのでしょうか。

○大澤委員長　　三浦委員。

○三浦委員　　ご質問の趣旨がちょっと違ったらあれですけど、耐震補強工事を実施したというのは事実として、1番として載せてございます。

裏面、例えばクラックの部分で補修をしないと、そこから水が入って行って腐食してしまうとか浮きが出てしまうとかということがありますので、そういう部分についてできる部分はやっていますよということ、裏の資料をおつけしていると。

それは建築営繕課さんのほうで見ていただいておりますので、基本的に、予算との兼ね合いもありますけれども、今現在、急に施設が使用できなくなるようなことはないけれども、老朽化は進行していますよというお示しだと思ってください。

以上です。

○大澤委員長　　大島委員長。

○大島委員長　　ありがとうございます。あとは持ち帰って、何か詳しい方から質問が出たら、またそのときに質問させていただきます。

○三浦委員　　ありがとうございます。

○大澤委員長　　それでは、今日、本日資料280を出したばかりなものですので、それぞれ持ち帰っていただきまして、何かご質問等がございましたら、また保育課なり、運協の場でのご発言というような形にさせていただきたいと思います。

続きまして、資料281といたしまして、小金井市立保育園における保育士の配置状況についてを資料として用意いたしましたので、こちらのほうの資料につきまして、堤委員のほうからご説明をお願いいたします。

○堤委員　　担当課長の堤です。

資料が欲しいということでご相談がありました。保育士の配置状況について今出せる資料として用意したものです。

この時期、保育事業にとっては半端な時期でして、大変恐縮なんですけど配置数が去年の5月1日時点のものになっています。その上で、欠員数のところが現時点の最終の情報で、4月1日時点の見込み数をこの後、予定が見込まれるということも含めて盛り込んでいます。

ですので、そこをざっくばらんに言ってしまいますと、正規職員についてはこの間、欠員4というふうにご説明してまいりましたが、急遽お一人退職が出るということになりまして、こちらにお示しのとおり5人というふうな数字になっています。

一般任期付については2人、欠員が出てます。

育休代替のところは現状4人なんですけれども、あと2人見込まれる方がいるので括弧付の数字では6というふうになっています。

あと、再任用職員のほうは、もちろん欠という考え方がないんですが、月給制のところでは、わかたけ保育園のほうで2人欠員がおります。このような4月1日以降の欠員が見込まれる状態です。現在、苦しいところなんですけど、正規職員については3月10日に締切りをしまして、今、採用試験をしているところです。

それから、一般任期と育休代替の任期付職員についても今募集を打ってまして、4月5日が締切りで5月1日の採用に向けて採用試験を打っていくというところがございます。

会計年度職員については、毎月のように試験を打っているというふうな状態です。

なかなか欠員状況は苦しいんですけど、5月1日付のところを整理するのが比較的分かりやすいのですが、今両方の数字を拾ってきて数字を落とすとこのような状態なので、こちらのほうご覧いただければと思います。

備考のほうです。備考のほうは、基本的には育休代替の任期付職員が取れていない場合に、それでも会計の任用職員、時給の方を当てることで、何とか現場の助けにならないかというのを措置してる部分を書き込んでいます。

ただ、分かりにくいのが、人数が、例えば、けやき保育園のところで書かせていただきましたが、3人分の人数の措置をしてお一人分について2人に分けてご本人の働き方の希望とかもあってやっていますので、3人分で2人分の穴埋めというか、そういうふうな措置をしている。また、わかたけ保育園からくりのみ保育園のほうへ事務従

事として人を1人応援に出していただくことでやりくりをしているということが備考のほうに書いてある内容です。

以上です。

○大澤委員長　　まず配置数につきましては令和4年5月1日時点での配置数に対し、欠員数につきましては、この4月1日時点の見込み数というところで示させていただいた資料ということで、大島委員長のほうと調整をさせていただいて出させていただいた資料というところになります。

まずこの資料等も踏まえまして、ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。いかがでしょうか。

じゃあ、大島委員長お願いします。

○大島委員長　　この資料も初見ですので、見方というか、この用語は何ですかとか、そういうところも聞いてもらっていいかなと思ってます。その点、皆さん大丈夫でしょうか。

○大澤委員長　　皆さんいかがですか。

(なし)

○大澤委員長　　大島委員長のほうからは、この職員の配置の状況については定期的に資料等を出していただきたいというような形のご要望もあったというふうに思っております。今年度につきましては今日が初めてというふうな形で出させていただいたものでございますけれども、次年度以降もまた調整をさせていただくという形で、本日ににつきましては。これを見ていただいて、こちらのほうも何かございましたらご連絡をいただく、または次回の運営協議会の中でというところでよろしいでしょうか。

田邊さん、お願いします。

○田邊委員　　田邊です。

こちら五園連のほうのアンケートから派生して資料をお作りいただいたと思っております。ありがとうございます。

もともとアンケートを受けた背景としては、保育士不足の解消を求めるという声だったんですけども、今回状況はこういうことで、もう募集は行っているということなんですけれども、応募の状況とか、今後の採用見込み予定とか、現状どのような状況なんでしょうか。

○大澤委員長　　今、応募の状況と採用の見込みというところでご質問をいただきましたが。堤委員。

○堤委員　　担当課長です。

応募の状況は、恐縮なんですけど、採用試験をやっているとその倍率とかそういうことにつながるのでもっとお答えしにくいのですが、率直に言うと6名もの欠員が埋まるというふうな状態ではないので、引き続き採用のほうの努力が必要だと思っています。

○大澤委員長 正規職員の場合ですと、一定時期が過ぎますと募集人員とかは結果がホームページで上がりますので、今の時点ではまだどのぐらい来てるかというのが示されているわけではないので、それがホームページ上に上がればご報告ができるというような状況かと思っています。すみません、補足だけです。

○堤委員 申し訳ありません。

○大澤委員長 田邊委員どうですか。

○田邊委員 分かりました、ありがとうございます。

○大澤委員長 じゃあ、大島委員長。

○大島委員長 ちょっとこの資料は難しいかなと思うんですね。特に初めて見た方は。なので、そういう質問、私も半分、分からなかったりしますので、括弧内が欠員数というところですので、だから横に見ていくと、くりのみ保育園は(3)になって、わかたけは同じく(3)。小金井保育園も(3)で、さくらが(2)と。けやき保育園が(4)となりますので、この人数が4月の時点で足りませんという。そこはそう率直に捉えていいんでしょうか。

○大澤委員長 堤委員。

○堤委員 育休の見込み数を、すみません、入れてしまっていて、その方は4月1日に育児休業をそのまますぐ取られるとは限らないので、ちょっとそこが曖昧ですみません。現時点の育児休業の代替だけだと、小金井もけやきも2ずつで書いておりますけど、1ずつなんです。この1ずつのぶら下げ方が、どういう形で取られるかというのは、この後の予定だと思ってください。分かりにくい資料で申し訳ありません。

○大澤委員長 そうするとこの欠員数の括弧というのは、4月1日時点の見込み数という形で出ているんだけど、育児休業の代替の小金井保育園の(2)と、けやき保育園の(2)というのは、4月1日時点では(1)という形の資料修正という形でよろしいですか。

○堤委員 そうです、その後の見込み数に入れてしまってます。

○大澤委員長 すみません。(2)と書いてあるのを、大変恐縮ですけども(1)のほうに訂正方よろしく願いいたします。

大島委員長。

- 大島委員長 今のお話を伺わせますと、減らした場合においても3名もしくは2名の不足があるというところでスタートしてしまうというところですね。
- 堤委員 まあそうです。
- 大島委員長 たしか昨年度のお話で言いますと、もう少し少なかったかなと。この各園1名かなというところだったと思うんですけど、これは欠員数が増えるという理解でよろしいですか。
- 大澤委員長 令和4年4月時点でのことと、令和5年の見込みというところの状況はどうかというご質問かと思えますけど、いかがですか。
- 三浦委員 私のほうからいいんですか。
- 大澤委員長 三浦委員お願いします。
- 三浦委員 今回、初めてお示しをさせていただいた資料で、去年の例と比べると、ちょっと手元の数字を持っていないんですが、正規職員につきましては昨年度は4人でした。4月1日で4人足りなかったという状況で、今年1人増えているという状況はそのとおりだというふうに認識をさせていただきます。
- 以上です。
- 大澤委員長 詳細の資料がちょっとないので、正規職員だけの比較というところで、今、ご理解をさせていただきたいという部分でございます。
- 大島委員長お願いします。
- 大島委員長 数値としては分かりました。数値は大事なんですけど、一番大事なのは現場の園側でどう手当をしてるかということですか、どう運営しているかというところだと思っておりまして、今日は園長先生も来てらっしゃいますので、この数値だけじゃないんですけど、その辺、現状を踏まえまして、この保育士が数値としては足りないと出ていますけれど、一方、回すほうとしましてはどういうふうに、欲しいというのは分かるんですけど、こういうふうに回していけますよとか、ここの辺は実は大変なんですよとか、何かそういうことはいかがでしょうか。各園、または代表して聞いてもよろしいでしょうか。
- 大澤委員長 まあ、欠員でのスタートに向けて現場での工夫というような形も含めて。
- 大島委員長 そうですね。数値だけではやっぱり私たち分からなかったりして、じゃあどうなのかというところは、やっぱり園長先生が一番考えてらっしゃいますし詳しいですので、そういうご意見をいただきたいなというふうに思います。

○三浦委員 いかがですか。各園というよりも、代表でいいですか。

○大澤委員長 はい、三浦委員。

○三浦委員 採用については、今、職場も含めてご迷惑をかけているところは認識しております。職員課のほうにも申し伝えて、なるべく早めに試験を打ってくれということも言ってございますので、1年間この欠が埋まらないということはあまり考えたくないというところなんです。

ただ、4月1日については状況的にこういう状況が客観的に出ていますので、ちょっと現場の中で工夫いただいている部分も多々あると思います。その部分で何かあれば一言いただけるとありがたいのですが。

すみません。

○大澤委員長 前島委員、お願いします。

○前島委員 くりのみ保育園の前島です。

くりのみ保育園は3人欠なんですけれども、0歳の募集をしていないので、その部分では担任の枠は何か埋まっている状況はあります。

ただ、ちゃんと埋まっているというのか、日にちが週5日の方が少なかったりするので、ちょっと2人の方につないでいただいたりというような形で、どの園もそれは同じだと思うんですけれどもそういう形です。

なので、さくらとくりのみに関しては、0歳児の担任枠が今ない、今年はないので、そこが今後の段階的縮小に向けての職員配置、準備段階とかのもので人が減らされてないので、欠員の部分は、そこを準備する職員がないという状況です。

ただ、くりのみとさくらは特にですが、けやきと小金井とわかたけは欠員の分の担任が埋まらない、埋められない状況にあるので、各幼児クラスから乳児に行ったりとか、体制がかなり厳しい状況です。

○大島委員長 ありがとうございます。

○三浦委員 ありがとうございます。

○大澤委員長 大島委員。

○大島委員長 現時点ではもしかは分からないかもしれないですけど、何か保育に対して制限される、例えば、これが今までできたことができなくなってしまうとか、そういうことは今発生しない見込みなんですか。大丈夫なんですか。

○大澤委員長 減ることによって保育に影響が出るようなことがあるのかどうかというような形のご

質問かと思いますが。

堤委員。

○堤委員 この間、公立園長会のために園長先生方からも、この保育士の方が足りないということ、それを何とかしてほしいということはずっと聞かされている。三浦課長も申し上げたとおり、職員課のほうの採用にもつないで何とか対応というのをやっているとこなんです。その中でやっぱり疑われたのは、担任が埋まらないとかいうことがある中で、どうやって充てるかというような工夫をしてきたんです。

なので今のところ私が伺っているところでは、保育の質というよりは、しっかりやっ
ていこうということをされているなら、その分、職員のほうに休憩とか休暇とか、そう
いうところにしわ寄せがいつているので、園長方の先生方は保育所の先生方の体調とか
をすごい心配される声を、伺いを寄せてらっしゃると、そういうふうな状態なんです。

○大島委員長 そうですね。今後なんですけど、五園連のほうでもこういうふうなところが心配です
とか意見が上がってくるものがあつたかもしれませんが、そのときはまた具体的な話を
させていただければと思います。

○大澤委員長 ありがとうございます。
ほかにございますでしょうか。

(なし)

○大澤委員長 では、また年度が替わりましたときに、また委員長等と調整をさせていただいて、こ
の資料につきましてどのような形でお示しするかも含め、また何かがございましたら、
また運営協議会、または保育課のほうに問合せ等をいただければというふうな形とさせ
ていただき、取りあえず前回のアンケートにつきまして、保護者委員のほうからいただ
いたものにつきましては、ここまでとさせていただきたいと思います。

それで、大島委員長のほうから発言をお願いします。

○大島委員長 ちょっと今の話なんですけど、質問としてはほかにもありましたので、今日示されな
かったものについては進捗がないということだと思ふんですけど、そういう理解でい
いんですか。

アンケートの要望については2点だけではなくて、例えば、おむつの持ち帰りとかほ
かにもありました。ほかについては今日、説明がなかったというのは経過がないという
理解でよいですか。

○大澤委員長 前回6点ほどご質問をいただいて、口頭でできるところは口頭でご回答させていただ

き、2点資料等を出すというようなところで終わってるのかなと思っていました。

それでそのほか4点について、今こちらのほうで現状お答えできるものもあればという形になると思うんですけど、いかがでしょうか。

○大澤委員長 三浦委員お願いします。

○三浦委員 今おむつの関係というところでお話が出たので、ちょっとおむつの持ち帰りの部分について、今の到達点というところだけお話を申し上げます。

国がおむつの持ち帰りについては、園で処理するのを推奨という話になって以降、ちょっと私のほうでも過去の状況をひっくり返してみました。

現状において、市立保育園につきましては、お子様たちの大便については園のほうで処理をしていますけれども、おしっこのほうについてはお持ち帰りをいただいているという現状がございます。その部分について、園で処理をというご要望があるところは認識をさせていただきまして、今、私のほうでは担当課のほうと協議をさせていただいている状況でございます。ただ、まだ具体的などころまで話が進んでございませんので、今現在皆様のほうにこうしたいという形でお示しするところまでは伝えられないんですけれども、担当課のほうと協議を始めさせていただいているという状況まででございます。

そのほか、駐車場の問題、駐輪場の問題については、ご回答させていただいたとおりでございます。

○大島委員長 駐車場はありましたけど、駐輪場は設備上の問題で設置できない可能性はあるという、ただ、そこは確認していくという話だったと。

○堤委員 けやきはできないという話で。

○大島委員長 全部明確にできないという話ではなかったということですか。

○三浦委員 他の法令上の制限があって屋根がつけられないんだという説明を申し上げましたよね。

○大島委員長 可能性があるかと。

○三浦委員 その部分が、間違いないのかどうかを確認しろということによろしいですか。

○大島委員長 そうです。

○三浦委員 という趣旨であれば、ごめんなさい、改めて確認させていただきたいです。

○大澤委員長 今、大島委員長のほうからほかに4点ありましたというふうな形で今、取りあえずおむつの状況は報告をさせていただいた。

電子化につきまして、特段、今進展があるわけではないというところですよ。

駐車場はご理解いただいているという形ですので、駐輪場だけ、すみません、今日お預

かりをさせていただいて、その辺は分かり次第また園長のほうにご報告をするという形でよろしいですか。

○堤委員 担当課長です。

ちょっと私の理解が間違っていたら申し訳ないんですけども、田邊さんからいただいた6点の質問について、前回口頭ではお答えしたんですけども、特に保育士の配置と、それから安全上のことが、やっぱり資料が出てこないと分からないよねとなったんだと理解しているんです。

例えば、だからおむつに関しては、ごみ処理全体のこととかもあるので検討中みたいな中で回答していて、それから、こう言うてはなんですけど、その状況から変化がないから今回報告とかも。お便りのことも園長方のほうもあって、2種類のお知らせのどちらを電子化するのがいいのとかというのが現場でも考えがあるとかという状態で、それが変わってないので今回回答することがない。

駐輪場については、法規上難しいという話はお答えしたつもりでして、それが変わってるわけではないのでそういう意味で、この4点については特にお答えしてないということのつもりだったんですね。

だから逆に言うと、おむつのこととかの検討は続いていますので、状況の進展とか、またちょっとバッドニュース含めて変化があればもちろん報告するという構えになるんだと思うんです。そこはちょっと大島共同委員長の認識の進め方とそごがあったのは申し訳ないんですけど、我々部局としてはそんな中で今回2点の資料をお渡しして、すみません、残り4点は特に報告を用意しなかったということなんです。

○大澤委員長 田邊さん、お願いします。

○田邊委員 すみません、田邊です。

ちょっと確認なんですけれども、おむつの持ち帰りについては厚労省から各自治体宛におむつの持ち帰りは廃止するよという通達があったように思うんですけども、実際にそれは小金井市にもあったんですね。

○大澤委員長 国の通知を市のほうで受理してるかということでございますか。

○田邊委員 そうです。

○大澤委員長 市のほうにも通知のほうについては届いている状況でございますか。

○田邊委員 それで検討に入られているということなんですけれども、時期に関しては、まだこれは、すぐには方針転換はできない状況ということですか、いろいろ各種調整をされる

のでということで。大体いつぐらいのめどを予定されているのでしょうか。

○大澤委員長 　いつ頃のめどを予定してるかというところですけど。

三浦委員、お願いします。

○三浦委員 　保育課長です。

まず田邊委員のほうから廃止するよという通知という言葉があったんですけど、正確に申し上げると、国は園での処理を推奨するという文言でしたので、ちょっとそこは私のほうから補足させていただきます。

それから、今、検討の状況でございますけれども、園長のほうにも以前伺ったことがありまして、園から出るとなると、やはり毎日収集しなければいけないだろうということなんです。ご自宅等ですと、今週2回燃やすごみですね、収集していると思うんですが、園のほう、やっぱり毎日収集しないとちょっと厳しいかなという状況もあります。それから予算等々の話もありますので、ちょっとその辺も含めて先ほど申し上げた担当課と調整をしているという部分でございます。

検討の時期なんですけれども、今この場でいつまでに結論を出したいというところまでは、すみません、まだ話が積み上がっていないので本日の段階ではご勘弁をいただきたいと思えます。

私からは以上です。

○大澤委員長 　田邊さん、いかがですか。

○田邊委員 　ありがとうございます。では、小金井市としても国の方針に沿ったような形で、できる限り速やかに実施する方向で考えているということによろしいでしょうか。

○大澤委員長 　考えているのかというご質問です。

○大澤委員長 　三浦委員お願いします。

○三浦委員 　保育課長です。

はい。速やかに実施したいというふうに私どもも考えてございますけれども、ちょっと調整箇所が多いものですから、一定お時間をいただきたいと考えてございます。

以上です。

○大澤委員長 　田邊さんどうですか。

○田邊委員 　ありがとうございます。

それは、やはり国からそういった通達があった要素が大きいでしょうか。

○大澤委員長 　三浦委員お願いします。

○三浦委員 おむつの持ち帰りについては、ちょっと記憶の範囲ですけれども、これまでもご要望いただいているところがあったと思います。おっしゃるとおり、国から正式に通知が出たというところもございますし、既に民間園さんのほうではおむつの処分を実施している背景もございますので、もう一度検討について加速していきたいというふうには考えているところでございます。

以上です。

○大澤委員長 田邊委員、よろしいですか。

○田邊委員 ありがとうございます。ちょっと衛生面の問題などもあるかと思えますし、できるだけご調整いただければ幸いです。

私からは以上です。

○大澤委員長 ありがとうございます。

それでは、改めてこのアンケートのところにつきましては、まず280で資料を今日、安全なところをお見せし、281につきましては保育士の体制のところ。それと今、おむつの状況につきましては進捗のほうご回答させていただいたところでございます。引き続きすぐ、また何らかの動きがあればご報告をさせていただくということで、それと駐輪場の部分につきましては確認を取り次第またご報告をさせていただき、その他このアンケートに関わる部分で動きがありましたらご報告をさせていただくというふうな形の取扱いにさせていただきたいと思っております。

それと、また来年度に入ったときにこのアンケートの取扱いにつきまして、紙ベースであったりとか電子化というところが従来から言われておりますので、その辺のやり方につきましては、また引き続きこちらのほうでも検討していきたいというふうなところで思っております。

ですので、またアンケートというふうな形での議題は本日までというふうにしますけれども、その他でも取扱いはさせていただきたいと思っておりますので、その旨でこの取扱いにつきましてはさせていただきたいと思っております。

それでは次に、その他のほうに移らせていただきたいと思います。

前回でも運協以降の市のほうの動きといたしまして、資料282といたしまして議案第19号の小金井市立保育園の在り方検討委員会の設置条例につきまして、今日、資料とさせていただきますので、堤委員のほうからご説明方よろしく願いいたします。

○堤委員 担当課長の堤です。

資料のほうご覧いただきたいのが、冒頭の市長の挨拶のところでもその在り方、市立保育園の役割と在り方を検討するということで意義についてはご説明がありましたけれども、こちら条例案を出しています。

もともと議員のほうからも提案されていたんですが、2ページ目をめくっていただきたいんですが、設置、それから所掌とかということをこういう形で整理させていただいて、端的に言えば市長からの諮問に応じて答申するというふうな形にしています。また、役割と在り方について議論されたことをシンプルに示したつもりでございます。

位置づけとしては、これも市長が申し上げておりましたが、小金井市すこやか保育ビジョンにおける小金井市が果たす役割というのがありますけど、こちらを具体化していくというのが、それによって市全体の保育の質の向上につなげていくというのを一環として検討したいというものです。

第3条を見ていただきたいんですが、特に（3）のところにありますけども、小金井市立保育園を利用する児童の保護者に加わっていただきたいというふうに考えておりますので、条例が可決されましたら、大島共同委員長のほうには改めてご相談させていただきたいと思っています。

こちらのほうは予算も併せてできせていただいていますけれども、委員の委嘱とかも考えると7月にスタートして、それで来年の1月に終了、答申をいただくというかなりハードなスケジュール、短期で集中的に議論を重ねるということを考えていきます。

また、基本はこの委員会での議論になりますが、そちらの材料ということにもなってきますけれども、8月と12月に無作為抽出の市民とか保護者の方とかを加えてワークショップを開催して、またどのような役割とか在り方を考えられるかというふうな幅広いご意見をいただいている、それを土台にして委員会で議論してまとめていただくというようなつくりを考えています。

かなり短期集中で幅広いご意見や思いを集約できるようにって考えているので、普通にやると難しいものですからファシリテートの専門家のサポート、専門家の支援を受けてる形で議論が、または対話と議論がいい形でできるようにというふうな支援委託も合わせて予算として組んでいるところです。

こちらの議案を2月17日の本会議のほうで上程をして、3月6日に厚生文教委員会がありました。こちらで一応審議は終了しています。ただ、予算のこともあるので、採決は保留されていまして、採決のほうは、見通しとしては週明けの20日の月曜日に厚

生文教委員会がもう一回開催されるので、そこで採決になる見通しです。また、予算のほうは祝日挟んだ22日の予備日に予算特別委員会が開催される予定ですので、そこで採決になるというふうな見込みなんです。

ただ、最終的には議員構成のこととかもあるので、24日の本会議を受けていただく。また、それがどういうふうな採決になっていくのかということで、私どもは条例の成立に向けて今、努力をしている。市長は多分この土日も努力されてるところでございます。

そういう意味で、大雑把な説明で恐縮ですが、こういう形で在り方の検討、よりよい公立保育園の在り方を進めていきたいというのを進めているところでございます。

以上です。

○大澤委員長　今、堤委員のほうから資料に基づきましてご説明をさせていただきました。保育園の在り方検討委員会というところで、以前、保育ビジョンというものを市として作成をいたしました。それに当たりましては、公立保育園の保護者からもご参加していただいて議論をしていただいたところでございます。

この条例が可決した暁には、また公立保育園の保護者、利用者の保護者にもご参加していただきたいというふうなところもございまして、今回時間をいただきましてご説明をさせていただいたということが今回の趣旨ということでございます。それらも含めまして、皆様方からご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。

いかがですか。

保々さん、お願いします。

○保々委員　さくら保育園の保々です。

このご説明いただいた内容が、今ここで説明いただいたのが、保護者委員、保護者2名が誰か出てこなきゃいけないからという意味が大きいのかなと思ったんですけど、この運協のメンバーとかではない、ほかにもたくさんいらっしゃる保護者の皆様に対して、これのご案内とかは行くんでしょうか。内々で保護者2名が決まって選ばれていくのか、広く募る予定なのかとかいうところは気になったんですけど。

○大澤委員長　保護者2名の選定の方法というご質問かと思っておりますので、じゃあ堤委員お願いします。

○堤委員　堤です。

この保護者委員については、保護者会、五園連のほうから推薦をいただいて、関係団体の推薦と同じで、推薦をいただいた方を委嘱させていただければと思っています。あ

と公募市民のほうがありますので、こちらで広くお知らせして委員をぜひ受けていただきたい。

あと、ワークショップの方も2回開催予定なんですけど、それもあえて言うと、一般の無作為抽出にいく枠とは違って保護者の方の枠の方も設けさせていただきたいと考えていますので、そちらの方は指示させていただいてぜひご参加いただきたいと思っています。

なので、この条例の(3)でいうところの保護者の委員は、ご推薦いただいた方を委嘱するというのを今考えていますですね、広くというよりは、

○大澤委員長 保々さんいかがですか。

○保々委員 ありがとうございます。私とか保護者委員は、各園から2人ずつ出てきていて、それをここで聞いたことを役員会とかに持ち帰って話しているんですけど、何かこう、廃園の件もそうだったんですが、廃園も専決処分されました。0歳児募集停止しますというお便りが来て以降、ここでは結構、何度も話があったりとかするんですけど、一般に紙ベースとかであまりご案内がないので、ほかの保護者の人たちは自分で情報をキャッチしにいかないとなかなかこう、今どうなっている、あれそういえば市長って廃園撤回を掲げて当選してたけど、あれどうなっているのというのとかも、なかなか情報が伝わっていかなくて、これは私とか保護者委員にも責任があるのかもしれないんですけど、ここで引いたラインをしっかりと園の保護者の人に伝え切るというのが結構大変と言ったらあれなんですけど。なので、ここで話される内容が、こういうのは結構大事なことだと思うので、民間の保護者の方にも伝わる形で、何かやっていただけると助かるなと思うんですけど。という意味で一番最初の質問をして、これは保護者の方に説明がされるんですかというのを聞いたんですけど。

廃園の説明会とかも、冒頭、白井市長が説明会をするとおっしゃっていましたが、園のほうでも園長先生が役員会とか懇談会の場とかではやる予定があるよというのを教えてくれるんですけど、懇談会も全員出ているわけじゃないと思うので、出していない人とかだとまだまだ知らない、そんな説明会が開かれることを知らない人もいらっしゃると思っていて、ちょっとここはただの意見ですが、何かもうちょっと情報発信が保護者宛にしてくれるとうれしいなと思いました。

以上です。

○大澤委員長 様々な面での情報の発信というようなところのご意見を、今、保々さんのほうからい

ただいたというような形で。

堤委員。

○堤委員　　今のお話は、例えばもちろんこの後進めてくことは運協との情報共有、こういうことを進めようとしていますというのは共有できるようにと考えているんですけど、それだけじゃなくて、懇談会とかに参加しない方もいらっしゃるんで、全保護者に伝えるようなチラシなのかお知らせなのか、そういうのがあると分かりがいいよねという、そういうお話ですね。

○保々委員　　はい。

○堤委員　　分かりました。ちょっと、どういうタイミングでどういうことをしたらいいのかというのは悩みどころがあるんですけども、受け止めて共有できるようにというのは考えたと思います。

○大澤委員長　　保々さんよろしいですかね。

○保々委員　　ありがとうございます。

○堤委員　　今のタイミングではちょっとどうしようもないんですけどね。条例がどうなるか分からないので。

○大澤委員長　　ほかにかがでしょうか。

じゃあ、大島委員長お願いします。

○大島委員長　　説明ありがとうございます。厚生文教委員会、私は少し見まして、聞きまして、この内容についての質疑でも言っていたんですが、この設置条例の前提とといいますか、前提の中で、今、廃園が進んでいるという中の状況でありますけど、じゃあどういう前提の元にこれを検討してるかというところは、ここの中でも意見交換が出ておりました。

その中では、現行の条例に従って議論されていくというものと聞いておりました。ただ、自由な発言を妨げるものではないという市長の発言もあって、結構、曖昧な形だったのかなという形には理解しております。そこを明文化することは、何かできないのかなということも、じゃあ廃園を決定します、いや、しませんというのかということについても、多分議論することができるのかなというふうに聞いて理解をしていましたが、その点について、じゃあこれが実際に出て設置されるときには、何かしらの説明がないと、やっぱりそこもどう議論していいかという話にはなっていきますので、それを今後もう少し文言的に、言葉的に決めていくのであれば、それはそれでそういうふうに理解しますし、今何かこういうふうに示していくのが決まっているのであれば教えてい

ただきたいなと思います。

○大澤委員長　今の時点でも、状況というところとか、進め方も含めて言っていただけたと思いますけど、堤委員いかがですか。

○堤委員　まだこれから検討なので、役割と在り方を検討するという。それは背景を説明するみたいな、比較的シンプルなものかなという以上は、特にまだ検討はしてません。

今、大島共同委員長からあった部分、現状として、現状認識は、前提というふうに議会でも質問されましたけど、まず現状の方針と条例がどうなっているということはしっかり説明をしていく。現状がどうかということは説明をするというのが、市長も1回答弁していることなんですね。その上で何園かというのは議論になったときにどうなのかというのが議会でも質問されてまして、そこは委員の中からそういうふうな、議論が出るのを妨げるものではないみたいな話が議会でも答弁されてるとこなんです。

基本は、どういうふうに検討を進めるのが7回で短期集中で、ちょっと順番とかには議論の余地が、ある程度の余地があると思うんですけども、基本は例えば、他市だとセーフティーネットの役割があるとか、あと民間園との関係とか、特定保育とかのこととか、そういうふうなことについて公立園の強みとか役割とかというふうに考えられていきますので、そういうふうなことが議論されていくんだと思っていますね。

園の数については、そういうふうでは直接の諮問と当初の内容ではないということが前提としてあることが、背景として、委員の考え方として、こういうふうなことをやってくためにはどういうふうな体制が必要だとかという面を妨げるものではない。そうではないと、現実的な議論ができないからということが、今、想定されてる範囲だということになります。

ちょっと曖昧で申し訳ないんですけども、市長が言ってる言葉でもありますが、ビジョンを実現するためには、公立園というのはどういうものであるべきなのか。認可園として共通の役割がある中でも、特に公立ではこういうところを強みとか歴史的にも持っているんで、こういうところを今後進めていくべきではないかって、そういう考え方を立てる必要があるというのが先なので、今みたいな、ちょっと曖昧に聞こえるかもしれないですけど、園を育成すべきだとか、そういうふうな形で議論をするものではないという言い方になるかと思います。ちょっとまだその辺がうまく、ぱっと答えられなくて申し訳ありません。

○大澤委員長　大島委員長、いかがですか。

○大島委員長 分かりました。今の話としても、今そこを明確な言葉で言えるものではないというのは理解いたしました。

○堤委員 あと5月の段階では、それはもっと進んでいますので、その辺をきちんともう割り切れると思います。条例が通ってるかというのがありますけどね。

○大島委員長 そうしますと、要望という形には、意見という形にはなるんですけど、例えばさっき言った公立園の役割を議論していく中で、セーフティーネットというワードが出たときにセーフティーネットを実現するためには何園必要ですねという話。それはもう10園必要ですか、そんな話が出るかは分からないですけど、そういう話になったときに、その議論を妨げるものではないというふうに理解しましたが、そこはそういう形で進めただくように、そこでちゃちゃ入っちゃうと正しい議論ができませんので、そういうところはうまく誘導していただければなど、進行のほうでもそういうふうにやっていただきたいなと思っております。意見です。

○大澤委員長 じゃあ、委員長のほうからご意見、ご要望というような形で言っていただいたというふうにさせていただきたいと思います。これで皆様方がいかがですか。

(なし)

○大澤委員長 それでは、市のほうの案件は以上となりますけども、皆様、委員のほうからその他で何かご発言、ありますでしょうか。

田邊委員、お願いします。

○田邊委員 時間がかかっているところを申し訳ないんですけども、私のほうから1点、ちょっとご報告を求めたいものがございます。

株式会社コスモズに関する件になります。こちら公立保育園と関係ないのではないかとされるかもしれないんですけども、先ほど公立保育園の在り方を考える際に、このセーフティーネットという表現がありましたが、民間園の動向というのも公立保育園の在り方に深く関わってくる話だと思っております。

私より保育課の皆様のほうが、このコスモズの件に関しては詳しいものがあるかとは思いますが、ちょっと私なりに経緯を調べてみました。

去年の8月5日、2022年の8月5日には、コスモズの連携園である八王子の保育施設で虐待の疑いがありました。これに関しては連携園だということで、コスモズのほうからは適切な報告はないと聞いております。

あと2022年の10月にはコスモズが発行している市民運動新聞のほうでは、佐野

代表のほうのコラムには不適切な表現がありました。こちらの内容ですが、性暴力を容認するような内容が記載されておりました。

2023年の1月25日には、コスモズが三鷹市と小平市のほうで助成金を不正に受給しているという事件が発覚いたしました。こちらが金額が約2,000万超ということです。

一旦コスモズのほうは、両市のほうに報告書を提出したんですけども、その報告書自体は不可解な部分がまだ多くて、現在、再提出を求められている状況です。

それから2023年の3月16日。おとといになるんですけども、杉並区のほうでも不正受給が発覚いたしました。こちらの金額は2,500万円ということになってございます。いずれも新聞の報道とかですね、また知人から聞いた話で経過をお教えいたしました。

このコスモズに関してなんですけれども、小金井市が一番多く、市内に7箇所ございます。なので通園している児童数というのは、恐らく延べ人数だと結構な数いるのではないかと想像しております。

このことに関して小金井市のほうは、報告を求めている状況だと思うんですけども、現在に至るまでコスモズのほうから報告は出ていないということで、議会を傍聴していると見解が述べられておりました。

今月の20日ぐらいには出てる予定となっているのでしょうか。この辺りの経過を、私たち保護者にもきちんと説明をしていただきたいと要望いたします。

あと不正受給はもとより、子どもの虐待というところも私自身はすごく気にかけていて、こういった民間園の点検というか、ちゃんと民間園が保育を行っているのかなというチェック体制を、今までちょっと東京都と一緒にやっていく程度というところだったんですけども、今後もどのようにしていくご予定なのか。この一連のコスモズのことをどう捉えているのかは、その辺り、今、ごめんなさい、急な、議題にそもそも挙げていなかったんですけども、ちょっと公立園にも深く関わる話だと思っておりますので、保育課の皆様、もしご発言いただければと思いますし、経過をコスモズから報告があった後でも運協の場で報告していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大澤委員長 今大きく、コスモズの関係の状況というところが1点、それと、民間へのチェック体制というところでご質問2点を承ったというふうに思っております。

それぞれお話ができる範囲内というところでご理解をしていただきたいと思っております。

ども、いかがですか。

じゃあ堤委員お願いします。

○堤委員

担当課長の堤です。

関係がある、関心があるということなので、概要はご説明したいと思います。ただちよっとご理解をいただきたいのは、じゃあ公立園で起きたいろんなことを民間園の保護者に逐一伝えるかといったら、きっと伝えないんですね。お互い必要な範囲でということになります。ただ、確かにちよっと大きい事件なので、経過とかはしっかり目にお伝えしたいと思いますが、その辺、我々も詳細にわたってまた、特に今日時点で言うと、20日の議会の前より話せないことがあるということをご理解いただけるとありがたいです。

特に、今回の補助金の報道では不正受給と言われているんですが、現在いただいている報告では過大な受給があったって言うだけなんで、あえて不適正受給と言わせていただきますけれども、25日に報道があつて、小金井市のほうでは27日にすぐ話を聞きに行きました。それで、三鷹、小平市の園の状況についても伺いましたけれども、何よりも小金井市内ではないのかということ調査するように要請したところです。端的に言えば、三鷹と小平は過大受給があったという言い方をしていますから、であればその経過と原因。これは三鷹市さんも小平市さんも同じように経過と原因の報告書というのを求めていると思いますけど、小金井市としてもそれについては、他市の園からというのではなくて、運営に関わるので調査して報告してほしいということを行っています。

また、何よりも、小金井に限らないですけど、他園で同じような状況があるのかというのを報告してほしいということを行っています。

これは27日に、その辺は調査中というふうな概要になりますけれども、これを文書にしたものを1月30日付の文書なんですけど、それを2月1日に小金井市へ持ってきて文書での報告を受けました。この件について、2月7日の公正文教委員会で報告したところです。

そのときには2月1日に、この後2月15日をめどに報告するというふうに言っていたんですが、その後、調査の不備というか調査を行ったら疑問点が浮かんだとかで、報告の日時が延期されていました。3月上旬をめどに最終的には報告したいというふうな内容で、ちよっとまだ詳細は申し上げられないんですけども、昨日報告を受けました。こちらの内容について、20日の厚生文教委員会で報告したいというふうに考えていま

す。

今、田邊委員からご質問がありました、民間園に限らないですが、認可保育園がきちんと保育がされているかというのは、指導検査で財務や建物から始まって園児への関わり方とかも含めて検査をしているところです。この間、小金井市は単独の検査はできていなくて、東京都との合同検査と、あと一部の検査で同行するというような形をしています。

ただ、ご指摘があったとおり、しっかりこの間、園の数が増えていますので、そうすると都の検査だけでは数が届かなくなってきましたね。また重要な問題が指摘されたときには検査に入る。必要なら指導しなきゃいけないということは今後生じると思うので、指導検査をするというのはかなり専門的な能力とか労力が必要になるので、直ちに実施するというのはちょっと難しいんですけども、実施していくようにしていくというのは課題であると思っていますところでは。

○大澤委員長　あのとおり概略でございますけども、お話できる範囲内でコスモズの関係と民間へのチェック体制につきましてご答弁させていただきました。

もう一つ田邊委員のほうから今後も運協でというようなご報告でというようなお話があったと思いますけども、そこにつきましては、また共同委員長と調整をさせていただくというような形で、今の時点では、すみません、ここまででということで、また何らかがございましたらまた委員長を通じてご報告をさせていただくというふうな形は考えたいと思っています。

別に、堤委員からお願いします。

○堤委員　田邊委員、すみません。1個報告を忘れてまして、我々議会でも報告しましたけれども、1月27日の事情を聞いて、すぐその翌日の28日からですけれども、まずコスモズ、それから、あとの間5年間の補助をしているのが合計で32施設あるんですけど、その32施設の工事、設計費用、工事費の補助について再調査を進めています。

その中で市としても見つけたものがあれば、例えば補助金の過大があれば返還していただくとか、そこにはなくても事務的に不備なところがあれば今後の改善に生かしていきたいと思っていますので、これも同時並行で進めておりますので、ちょっとタイミング的に本日時点ではまだお話しにくいのですが、20日の厚生文教委員会でも一定の報告をと考えていますので、後とかになると思いますけども、大澤部長からもありましたように、運協の大島共同委員長とか運協のほうを通して情報提供、報告のほうが何らか

できればと考えています。以上です。

○大澤委員長 田邊委員、いかがでしょうか。

○田邊委員 現時点のところのご説明をありがとうございます。ちなみにすみません、ちょっとお分かりになれば教えていただきたいんですけども、報道では過大な請求があったところとところが述べられていて、それがどうやって発覚したかというものの記載がなかったんですけども、この他市は、どうやってこの過大な請求があったという情報をキャッチできたものなんでしょうか。何をもって気づけたんでしょうか。ご存じですか。

○大澤委員長 堤委員、お願いします。

○堤委員 三鷹市と小平、それから今回の杉並についても、株式会社コスモズのほうから連絡があって知ったんだというふうに聞いてます。

○田邊委員 すみません。ごめんなさい、聞き取りづらくて。

○堤委員 三つの自治体で運営するところで不適正なのがあったという話になってますよね。

○田邊委員 そうですね。

○堤委員 それぞれの自治体は、コスモズの方から連絡があって知ったというふうに聞いてます。

○田邊委員 じゃあ自治体が見つけたのではなくて、コスモズが自ら進んでそういうことがあったと報告をしたということなんですかね。

○堤委員 これについて議会でも答弁してますけど、コスモズさんのはちょっと関係があって名前は出せないみたいなんですけど、関係行政機関から指摘を受けてコスモズが自社点検をした。自社点検の結果、三つの自治体でのが分かったので、三つの自治体についてまず第一報入れたと、そういう流れのようです。

○田邊委員 分かりました。ありがとうございます。

ちょっとこのケースを聞いていて、もし小金井市でこれに似たような事例とか、これよりひどいことがもし今後発覚した場合に、小金井市としてはこの施設の認可を取り消すとか、そういった可能性もゼロではないものになるんでしょうか。

そういったときに、ただ通っている児童のこととかもあると思うので、市内に一株式会社がかかり、7か所ですかね、かなり多くの数の保育施設を構えている。もし、一法人にそういった瑕疵があったときに、小金井市としては、瑕疵の程度にもよると思うんですけども、やっぱりあまりひどい場合は認可を取り消さざるを得ないことも、可能性としてはゼロではないですよ。

○大澤委員長 堤委員お願いします。

○堤委員 なかなか仮定の話は答えにくいところがあるんですけど、まず認可を取り消すかどうかは、東京都のほうにまずなってきます。

小金井のほうとしては、その下でというとなんですが、その下のところで指導検査や、今回は各所の補助金を支給していますから、その補助金の件でも指導とか検査ということになってくると思うんです。その是正を求めるし、補助金については過大のものがあれば当然、返還してもらおう。

それから株式会社グローバルキッズの件についてやりましたが、それが不正であれば、少なくとも加算金を請求します。また、関係者の処分を求めるとかということができるんですが、その辺、小金井では今あるとかというような報告は受けてませんので、その辺もまた内部の方の調査もしてますけれども、その点を踏まえて必要な対応を取る必要があると思っています。

○田邊委員 分かりました。ありがとうございます。そうすると、過払い金の返金とかいろいろ求めていく部分が出てきた場合に、法人として存続ができない可能性が出てくるということで、認可の取消しではなくて廃業せざるを得ないケースも想定し得るのかなと思っており、やはりそうすると先ほどの公立保育園の在り方ではないですけども、セーフティーネットとして公立保育園の存在意義というのがより重要といたしますか、こういった、簡単に足下から崩れるようなものがあるんだなというふうに、すみません、ちょっと今回のケースを見ていて感じた次第です。

また引き続きこちらに関しては、次期の運協メンバーになってくると思うんですけども、ちょっと保護者のほうにも説明をお願いいたします。

以上です。

○大澤委員長 ありがとうございました。

ほかに皆様、その他はございますでしょうか。

大島委員長。

○大島委員長 3点ありまして、まずさくら保育園の件。前回、柴田園長からお話しいただきまして、ちょっと体調不良で休んでいる保育士がいるという件で、その後、保育の影響があったという話だったんですけど、その経過のところでは何かありましたら教えていただきたいのが1点目です。

2点目ですが、4月以降の0歳児の公立園の募集の人数が、入る人数が決まったと思うんですが、これは私立のほうでもそうなんですけど、募集人数のほうが多くなって保

育を希望してる方が減っていますというのが廃園の理由の一つにもなっていたと思うんですけど、そういう中で公立園として、0歳児の人数というのはどんな感じで決まったか分かれば教えてください。

三つ目なんですけど、毎年やってるアンケートなんですけど、次年度もぜひ継続してやっていきたいと思っているんですけど、アンケートをやっぱ書くのも集計も結構労力がかかるということですので、ウェブ化ということできれば検討したいなと思っております。

ウェブ化についても、すぐできるものではないと思いますので、次年度の1回目から具体的な議論ができればと思ってまして、じゃあどうやったらできるのか、何ができるのかということをお話合せて、また五園連の中でも、じゃあ何の質問を上げるかという議論が出てきていますので、また持ち帰る必要がありますので、そういうことを考えていくと次年度の1回目から、そういう具体的な議論ができればいいなと思っております。その点、要望でお願いしたいと思います。その3点でございます。

○大澤委員長　　まず一番最後のアンケートは、先ほど私が言ったようにウェブ化というところはあるかと思っておりますので、そこにつきましては、引き続き調整というような形で検討を進めさせていただき、まずさくら保育園の状況ということで柴田委員のほうからよろしいですか。

○柴田委員　　さくら保育園の柴田です。

いろいろなご心配やご不安を与えてしまって、大変申し訳なかったなというふうに思っています。前回お話をさせていただいたのが、正規保育士で長期の休みを取らなければならない職員が複数名いる中で保育を行ってきた。そして、その状況の中で、コロナ関係で数日間休みを取らなければならないような状況が起こった職員が、重なってしまいというのがかなり長い期間続いていたということで、さくら保育園からのお願いとして連絡ノートの記入が少なくなるということ。それから、ドキュメンテーションと言われている写真掲示のコメントをしばらくお休みさせてくださいということ。あと、お散歩の回数が減りますということで、保護者のご協力をお願いしたというようなことで、今回のことが起こっています。

コロナ関係でお休みする職員や、それを支える中できりきりの体制の中で職員が体調を崩し出すというような状況がかなり落ち着いてきて、確かに複数人の正規職員、保育士がお休みはいただいている状態にはあるんですけど、少しずつできることから保育園の中

では始めさせていただきます。

ノート記入と、あとドキュメンテーションも3月、2月の後半から3月にかけて始めていますし、ただお散歩に関しては、職員たちが保育の予定を立てているのを見ると、通常に近い形でお散歩に行かれるような状況が見られているかなというふうに思います。

なので今の状況が続くようであれば、少しずつ普通の保育内容に戻っていかれるかなというふうに思っています。

以上です。

○大澤委員長 ありがとうございます。

続いて、0の関係のところは。

じゃあ三浦委員お願いします。

○三浦委員 前回の0歳の空きの数という理解でよろしいですか。

○大澤委員長 そうですね。全体と、全体のところでどれだけ、何ですかね、キャパが埋まってないといえますか、出てるか、空きがあるかという。

○三浦委員 ごめんなさい。ちょっと今、手元の資料で、これから数字が動くんですけども、0歳、1歳、2歳ぐらいを申し上げます。

手元の集計で数字が動いていくことがあり得ますけれども、市内全体で0歳で94人空きが出ています。1歳で18人、2歳で27人程度。この辺、数字が動くかもしれませんが、手元の資料ではこの程度お伝えしておきます。

以上です。

○大澤委員長 前年よりは多分、空きがちょっと広がっている。ただ、まだ全部集計が終わっているわけではないですけども、速報値としてはそのような状況かなというところなんで。

大澤委員長。

○大澤委員長 前年よりも空き枠の数が増えているだろうというところで回答いただきました。

今年度の話で言うと、4月は一定数いたけど、だんだん月が進むによってその数が減って行って、1月とか2月の段階ではもうほとんど0歳児は埋まってたかなって思っていました。そこも実際どうでしたかというところをお伺いしたいのと、あと公立園に関しては今2園は0を止めてますけど、3園というところでは埋まったのかなってところをお伺いしたいと思います。

○大澤委員長 2点質問があって、今年度0歳が多分だんだんと埋まってきたんではないかという趣旨と、公立保育園の状況という形だと思いますが。

○三浦委員 保育課長です。

まず0歳、令和4年度の状況ですけれども、おっしゃるとおり、月を重ねていくごとにお子さんたちが入っていったところのトレンドは私も認識はしておりますけれども、ちょっと数字で今持っていないので、月を重ねるごとにお子さんたちが入ったところまではおっしゃるとおりかと思ってます。いつの時点で募集が0になったのかというところまでは持っていないので、今日はすみません、お答えできません。

それからもう1点。公立のほうでございますけれども、先ほど申し上げたとおり、今二次募集のところの段階で数字が言えないものですから、去年並で0歳児というところはお受けしていく形になろうかと思えます。

以上です。

○大澤委員長 よろしいですか。

○大島委員長 確定というのはこれからですので、また次年度、必要に応じて質問させていただきたいと思えます。

○大澤委員長 ほかにいかがでしょうか。

(なし)

○大澤委員長 それでは、次回の日程なんですけれども、今回は5月となります。それで、仮ですけれども、5月13日の土曜日、または27日の土曜日ということの2日間候補とさせていただき、決定次第またご連絡をさせていただくというふうな形で本日はさせていただきたいと思えます。

それです、一旦以上をもちまして本日の協議会は終了させていただきたいと思えます。

一旦協議会終了するんですけれども、来年度以降ちょっとメンバーがちょっと大幅に代わるようなお話を内々で聞いておりますので、皆様方に一言ずつお話をさせていただく時間を取りたいなと思ってございますので、急な振りで申し訳ないんですけれども、一言ずつご挨拶をいただければと思えます。

まず、順番でお願いします。くりのみの葛窪さん、お願いします。

○葛窪委員 今年度、ありがとうございました。ちょっと私もくりのみ保育園の保護者の方から伺ってきた、ちょっと話も少しさせていただけたらと思うんですけれども、保護者の皆さん、やっぱり現状、心配だとか不安だという声を結構聞いています。市長が代わったことで状況は変わるじゃないかという期待もあったけれども、それが変わらなかったというところ

ところで、現状に納得してる方はいなかったというところがありました。

また、田邊さんからあったんですけども、民間園の方にも心配な面があるとかというのを聞いてくと、私個人的に今の現状に対してはすごく心配であり、今後、自分自身も保育園のために何かできることないのかなということ、また考えながらご協力させていただけたらなと思っています。

ありがとうございました。

以上です。

○大澤委員長 ありがとうございました。

続きまして、泉川さん、お願いします。

○泉川委員 1年間ありがとうございました。市の人たちと話し合う貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。

○大澤委員長 ありがとうございました。

続きまして、わかたけの小林さん、お願いいたします。

○小林委員 1年間どうもありがとうございました。一応、今日わかたけ保育園の父母会、役員会の方でも、やっぱり市長が変わったけど、まだ結果が出ないということで状況が変わらないという声もあったんですけど、廃園についてはやっぱり難しい面もいろいろあるのかなと思いつつ、ちょっと今年度で運協は私のほうは終わってしまうんですけど、一応、来年度も興味深く今後の状況ですね、どうなっていくのかというのを期待といたしますか、見ていけたらなと思いますので、廃園のほかにも、おむつの持ち帰りとかもろもろ、難しい問題がたくさんあると思うんですけどこれからもよろしくお願ひしますと言ひますか、この場で話し合っただけならなと思ひます。今後の結果も楽しみにしてひます。

ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

続いて、小金井の田邊さん、お願いします。

○田邊委員 小金井保育園の田邊です。

1年大変お世話になりました。貴重な経験をさせていただきました。

私からは、前回の運協が終わった後に、ちょっとアンケートのフォローのメールを保育課に差し上げたんですけども、届いてるかどうかちょっと分からなくて、お返事がなかったものですから、大島委員長にお手数いただいて、届いているかどうかを確認していただいたんですけども、そういったような形で保護者委員のほうにも優しさ

いいですか、メールを受け取ったよという連絡一本でもいただけていたら不安にならなかったなというところで、これから運協のメンバーとまた引き続きにやり取りをしていただくと思うんですけども、ぜひ、共同で会議を気持ちいい形でやっていくというところで、ぜひ来期もお願いしたいと思います。

やはり廃園が重いテーマになってきた1年だったので、もっと前向きな公立保育園をどうよくしていくのかという、わくわくするような会議ができなかったというのが、そこに行き着く手前というか、もう廃園があったので、そういった前向きな議論ができなかったのではないかなと、私も反省しています。

本来であれば、子どものためにどんないい保育園をつくろうかって、みんなで楽しく未来志向で考えていけるような場であるべきなんだろうと思うんですけども、ちょっと後ろ向きな話題ばかりになっているので、ちょっと廃園もなくてほしいですし、廃園をまだまだ続くと思うんですけども、ぜひ、子どもを中心に据えた議論をこれからもしていただきたいと思います。

私からは以上です。

○大澤委員長 ありがとうございました。

続きまして、河原さん、お願いします。

○河原委員 1年間ありがとうございました。最初は、ちょっと運営協議会がどんなことをしているのかとか分からずだったんですけども、会議に参加していく中で行政の方々や保育園の皆様、様々な努力、協議を重ねながら今に至るということを勉強させていただいておりました。

ですが、まず廃園問題について、知識不足で発言が難しいと正直感じるがありました。自分の意見を直に伝えられる場なのに、積極的にやれなかったこと、大変申し訳ありませんでした。

アンケートにあるように、公立保育園を利用している方、多数の方が保育の質と中身についてとても満足しているとの結果が出ていると思います。こういった結果、声をもっと吸い上げて、また不安や不満を感じている方も多数いるので、そういった懸念点を取り除く議論を引き続き進めていただければなと思っております。今後とも前向きな検討を、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

以上です。

○大澤委員長 ありがとうございました。

続きまして、さくらの保々さん、お願いします。

○保々委員 1年間ありがとうございました。さくら保育園も廃園対象になっておりますので、ほかの保護者の方からは不安に思っている声だったり、下の子をどこに入れよう。上の子と共々転園しなきゃいけないかなとか、いろいろ考えて悩んでらっしゃる声も聞きます。

来年度以降も運協で、そういった廃園の話とかもされるとは思うんですけども、お互いが納得できるような話し合いになったらいいなと思っております。

個人的にはちょっと勉強不足で、保護者委員としてもっと何か建設的な意見とか出せたらよかったですけど、なかなかそういうところまで到達できず、何か申し訳なかったなと思っています。でも個人としては、とてもすごい勉強になりました。1年間ありがとうございました。

○大澤委員長 続きまして、けやき保育園の岩間さん、お願いします。

○岩間委員 私もけやきの中での役員会とかもあんまり参加できず、運協の場でも特に何か、お伝えすることもできなかったんですけども、私自身は子どもを保育園に通わせていてすごく感謝してる部分も多いので、そういうところとか本当にお伝えできたらなというところがちょっと反省点で、やっぱり前でもおむつの件とか、廃園の件とか民間の園の問題とかもまだまだ大変なこともあると思うので、これからも前向きにいろいろ会を進めていただけたらなと思います。1年間ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

中澤委員お願いします。

○中澤委員 中澤です。

1年間ありがとうございました。私は来年、引き続き運協に関わらせていただくんですけど、今年、運協としては廃園問題の課題ばかりで、けやきの園としては中立という立場だったので、あまりちょっと発言等は控えてはいたんですけども、個人的な意見をこの場で言わせてもらおうと、今後、子どもの数が減ってて、民間等に空きが出てくるから公立の園を廃止するというのには一定の理解はできるんですけども、ただ何だろうな、民間園ではできないものというのがやっぱり公立の園であると思うので、そちらを踏まえた上で今後検討していただけたらありがたいなと思っていました。1年間ありがとうございました。

○大澤委員長 ありがとうございました。

大島委員長。

○大島委員長　　そういえば3月ですので各園卒園式があって、そういう報告も受けて、やっぱり子どもたちが健やかに保育園で過ごして卒園していくというのは、私も子どもが今、3人目、4人目が保育園に行っていますけれど、やっぱり感慨深いものがあるなと思っていました。そういう中、1年間、園を支えていただいた園長先生を含め、市の職員の方には本当に感謝を伝えたいと思います。

今年度の運協に関して先ほども言いましたけど、ちょっと話題が重かったなって私も思っております。廃園とかそういうことがやっぱり中心になってしまって、それはどうしても話ざるを得ないし、それがあるとちょっとほかの話もしにくいというのが、やっぱりこの1年だったかなって思ってます。

この話は来年度も続くんですけど、やっぱり先ほどほかの委員もありましたけど、もうちょっと楽しい話ということも広めていきたいなと思っております。コロナが収束に向かっていますので、各園イベントというところもまた再開できたり、そういう、じゃあ何をしようかということも考えてると思いますので、来年度の運協においては、そういう行事だったり、もう少し楽しいことをという旨もありますし、私たち保護者がふだん分らないことということは市の職員が実は知ってたりしますので、私立の園ではこういうことをやってますとかそういう情報があれば、ぜひこれは公立の園でもやってみないとかという話もできますし、一方、他市の状況ではこういうこともありますとかというのがあれば、それもいいなという話もできますので、そういうやっぱり夢が広がる話が少しでもできたらなというふうには思っています。

私は来年度も継続ですので、引き続きよろしく願いいたします。

○大澤委員長　　ありがとうございました。

8人ぐらいちょっと入れ替わりがあるようなお話をちょっと伺ったものですので、会が終了後、皆様方から一言ずつというような形で時間を持たさせていただいたところでございます。

本当にこの1年間、本当に重たい審議が多くまたお忙しいところというところでご協力、本当ありがとうございました。

先ほどいただいたご意見というのを踏まえまして、引き続きまた大島委員長とどのように進めていくかというところ、また新メンバーも踏まえて検討していきたいと思っておりますので、最後でございますけども、本当に1年間ありがとうございましたとお伝えさせていただいて、今年度の運営協議会を終了させていただきたいと思います。本当

にありがとうございました。

では、終了いたします。

閉 会